

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第1部門第2区分  
【発行日】令和5年4月6日(2023.4.6)

【公開番号】特開2022-148798(P2022-148798A)  
【公開日】令和4年10月6日(2022.10.6)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-184  
【出願番号】特願2021-50616(P2021-50616)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 0 1 B

A 6 3 F 5/04 6 9 9

【手続補正書】

【提出日】令和5年3月29日(2023.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

時刻を調整可能な時刻調整画面が表示可能であり、

時刻調整画面では時刻が表示可能であり、

遊技機で発生し得る或る事象を検知可能であり、

或る事象に関する履歴を表示可能な履歴画面が表示手段に表示可能であり、

履歴画面には或る事象に関する時刻が表示可能であり、

履歴画面に表示可能な或る事象には所定の事象を含み、

時刻調整画面にて変更操作がされると表示中の時刻を変更可能であり、時刻調整画面にて

30

決定操作がされると変更操作により変更された時刻に決定可能であり、

時刻調整画面が所定期間に亘って表示されている間は、表示されている時刻は進行されないが、時刻が決定操作されないまま時刻調整画面が終了され、その後時刻調整画面が再度表示された場合の時刻調整画面に表示されている時刻は所定期間以上進行した後の時刻が表示可能であり、

時刻調整画面が表示されており、時刻調整画面にて時刻が或る時刻から他の或る時刻へ変更操作がされた後であって、変更操作後の他の或る時刻へ決定操作がされていないときに前記所定の事象を検知し、その後他の或る時刻へ決定操作がされてから履歴画面が表示されたときは、時刻調整画面にて変更操作がされる前の或る時刻に基づいた時刻が当該所定の事象に関する時刻として履歴画面に表示可能である遊技機。

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る遊技機は、時刻を調整可能な時刻調整画面が表示可能であり、時刻調整画面では時刻が表示可能であり、遊技機で発生し得る或る事象を検知可能であり、或る事象に関する履歴を表示可能な履歴画面が表示手段に表示可能であり、履歴画面には或る事象に関する時刻が表示可能であり、履歴画面に表示可能な或る事象には所定の事象を含み、

50

時刻調整画面にて変更操作がされると表示中の時刻を変更可能であり、時刻調整画面にて決定操作がされると変更操作により変更された時刻に決定可能であり、時刻調整画面が所定期間に亘って表示されている間は、表示されている時刻は進行されないが、時刻が決定操作されないまま時刻調整画面が終了され、その後時刻調整画面が再度表示された場合の時刻調整画面に表示されている時刻は所定期間以上進行した後の時刻が表示可能であり、時刻調整画面が表示されており、時刻調整画面にて時刻が或る時刻から他の或る時刻へ変更操作がされた後であって、変更操作後の他の或る時刻へ決定操作がされていないときに前記所定の事象を検知し、その後他の或る時刻へ決定操作がされてから履歴画面が表示されたときは、時刻調整画面にて変更操作がされる前の或る時刻に基づいた時刻が当該所定の事象に関する時刻として履歴画面に表示可能である。

10

20

30

40

50